

地方創生

問合せ

企画広報課

地方創生政策室
☎ 23-2118

高萩市の取り組み

国においては、人口急減と超高齢化という大きな課題に対応し、将来にわたり活力ある社会を維持することを目指した「まちひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。今月号では、高萩市のまちひと・しごと創生の取り組み概要についてお知らせします。

地方創生のQ&A



Q 高萩市は「消滅可能性都市」だって聞いたけど、将来なくなっちゃうの？

A

「消滅可能性都市」は、2040年における若年女性（20～39歳）人口が2010年と比較して半減すると予想されている市町村を言い、実際に消滅するわけではないよ。
でも、市の人口は、平成7年の35,604人をピークに、その後、企業の撤退や少子化の進行等により一貫して減少し、2016年5月時点で28,755人になってて、今後も一定の人口減少は避けられない見込みなんだ。



Q 人口が減少したらどうなるの？

A

人口減少や少子高齢化の進行は、産業・雇用・コミュニティ・医療・行財政など様々な分野に悪影響を及ぼすおそれがあるから、市の喫緊の課題だよ。



Q 人口減少に対して、市役所は対策をとっていないの？

A

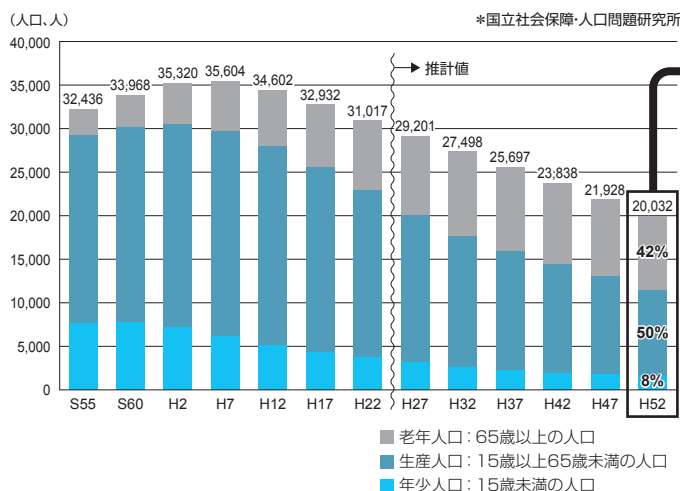
もちろん対策をとっているよ。昨年度に、人口の現状分析・将来展望を定めた人口ビジョンとそれを達成するための総合戦略を策定し、各種事業に取り組んでいるよ。



人口ビジョン

人口ビジョンは、過去・将来の人口推移等を分析し、人口の将来展望を示すものです。

社人研*推計による将来人口推計



人口の将来展望(H52年)

社人研推計人口
20,000人

将来人口目標
22,200人

人口減少対策の基本的視点

- 人口減少の抑制・人口安定に向けての視点
 - 市民の結婚・出産・子育てへの希望の実現により自然増を達成する
 - 移住・定住を促進し、社会増を達成する
- 人口減少に対応するまちづくりに向けての視点

民間事業者やNPO、市民など多様な主体が協力し、様々な地域課題を解決する

将来人口目標の根拠

高萩市創生総合戦略等における少子化対策の着実な実行と、国・県による少子化対策強化による相乗効果により、合計特殊出生率の段階的向上を見込んだ人口増(自然増)に加え、定住移住促進施策効果による人口増(社会増)を見込んでいます。

基本目標1

内発型の産業育成・支援による新しい雇用創出

基本方針と施策・事業

① 創業支援による新たな雇用の創出

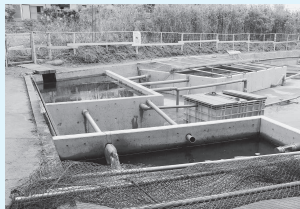
大学卒業者や女性が働ける場を創出することに加え、自ら市内に働く場を創出することができるよう育成、支援する。

- 例)・創業支援セミナー
・創業プランコンテスト
・創業支援拠点スペース開設

② 農業の活性化による新たな雇用の創出

農業を稼げる産業にして、若い新規就農者を確保する。

- 例)・農産物特産品開発支援
・ブランド育成支援



創生事業プランコンテストで最優秀賞となった花貫川清流の里づくり会は、事業化に向けて取組みを開始。支援金を活用してヤマメ養殖施設を整備しました。

基本目標2

高萩市への新しい人の流れをつくる

基本方針と施策・事業

① 首都圏等から本市への移住等の推進

本市にゆかりのある人物をターゲットとして「Uターン」を促す施策を展開する。その後Iターン推進体制を構築する。

- 例)・移住・二地域居住推進
・地域おこし協力隊の活用

② 本市での定住支援

転出抑制に関しては、特に子育て世帯の転出を防ぐことを重点的に考える。

- 例)・新婚世帯への家賃助成
・子育て世帯への遠方通勤費助成

③ 交流人口の拡大

交流人口の拡大を図るべく、本市ならではの観光メニューの策定など体験型観光の手法を研究する。

- 例)・高萩スカウトフィールド支援
・茨城県北芸術祭開催



移住者向けホームページを開設

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現

基本方針と施策・事業

① 結婚・出産・子育て支援

萩っ子・子育て支援事業計画(平成27～31年度)を強化する事業を立案する。

- 例)・出産祝い品の購入助成
・子宝ハッピー祝い金
・わくわくハッピー祝い金

② 魅力的な教育環境の整備

魅力的な教育環境を整備することにより、親世代に教育面で選ばれる街を目指す。

- 例)・中学生資格検定補助
・デジタル教科書導入



少子化対策を最優先とし、「出会い」「結婚」「出産」「子育て」の各ステージごとに様々な支援策を展開しています。

基本目標4

人口減少・高齢化に対応したまちづくり

基本方針と施策・事業

① 人口減少・高齢化に対応する効率的な市政運営の実現

- 例)・ふるさと納税の推進
・公共施設の計画的管理の推進
・他自治体との連携の強化

② 既存インフラ活用による拠点形成と交通ネットワークの再検討

- 例)・立地適正化計画策定
・地域公共交通網形成計画策定

③ 空家等既存ストックの利活用

- 例)・空家等の利活用
・既存ストックの利活用

④ 市民協働の推進及び地域コミュニティ機能の維持・強化

- 例)・地域コミュニティ活性化
・地域ぐるみの健康づくり事業
・消防団の充実・強化

本市の人口ビジョンの目標人口を達成した場合でも、将来の総人口は減少します。その中で生じる様々な課題を行政・民間・市民が協働して、また、他自治体との連携を強化することにより、今後も市民が安全、安心、活力をもって生活できる魅力あるまちづくりを行っていきます。